



発行所 財団法人兵庫県消防協会 神戸市中央区下山手通4丁目16番3号 編集発行人 関山 巧 定価 1部金44円 題字 井戸 知事

消さないで あなたの心の 注意の火

第二〇〇回

全国消防操法大会開催迫る

平成十八年十月十九日(木)に兵庫県立広域防災センターにおいて、第二〇〇回全国消防操法大会が開催されます。

この大会は、消防団員の消防技術の向上と士気の高揚を図り、消防活動の進歩充実に寄与することを目的として隔年で開催されています。

これまででは関東で開催されていましたが、今回は、阪神・淡路大震災から十年を経過した後、初めて開催される大会である。ことから、初の地方開催として兵

庫県で開かれます。大会では、各都道府県からポンプ車の部二四隊、小型ポンプの部二三隊が出場し、日頃の訓練により培われた消防操法の技術を競います。兵庫県からは、八月六日(日)に開催された第二一回兵庫県消防操法大会で優勝した神戸町消防団が小型ポンプの部に出場します。神戸町消防団は合併前の神崎町消防団の頃から操法に力を入れて取り組んでおり、全国大会へは今回で七回目の出場であり、前回大会のポンプ車の部準優勝など、これまで準優勝三回、入賞一回という成績を収めています。今回は地元開催ということもあり、自治会や家族からの応援を受け、全国制覇を目標に練習に励んでいます。兵庫県代表として神戸町消防団の健闘をお祈りしたいと思います。



また、当日は三木総合防災公園の施設見学も行われます。陸上競技場に設けられた備蓄施設にある備蓄物資の公開を行うとともに、「復興の歩み展」として大震災からの復旧、復興のパネル展示を行います。さらに、阪神・淡路大震災クラス(震度七)の地震を再現した震動実験により、様々な構造物の破壊過程と新しい耐震技術を検証することができ、世界最大の実大三次元震動破壊実験施設「E-ディフェンス」の見学も可能となっています。当日は、全国から集まる消防団員の操法をご覧いただき、今後の消防活動の向上に役立てていただくとともに、この機会に全国の消防関係者との交流を図っていただきたいと思っております。また、当日は、阪神・淡路大震災の際に全国

から寄せられた支援への感謝の意を全国に発信するとともに、全国の消防関係者や県民の交流を図るため、「物産展」物と心の交流広場、「防災グッズ展」等の関連行事を行います。

「物産展」物と心の交流広場は、全国から集まる選手、応援団等消防関係者及び見学者との交流広場として行われ、県内外の消防団員がつくる各地の特産品や兵庫県内の特産品を集めて販売します。そろばん等の木工品やのこぎり等の金物、焼栗や巻きずし等の食べ物、地酒など様々な特産品が販売されます。「防災グッズ展」では、全国の消防関係者及び見学者に対して、防災知識の普及、防災意識の高揚を図るため、消防用ホースや住宅用スプリンクラーなど、消防団や自主防災組織の活動、家庭での災害に対する備えに利用する防災機器・用品を展示・即売します。

また、当日は三木総合防災公園の施設見学も行われます。陸上競技場に設けられた備蓄施設にある備蓄物資の公開を行うとともに、「復興の歩み展」として大震災からの復旧、復興のパネル展示を行います。さらに、阪神・淡路大震災クラス(震度七)の地震を再現した震動実験により、様々な構造物の破壊過程と新しい耐震技術を検証することができ、世界最大の実大三次元震動破壊実験施設「E-ディフェンス」の見学も可能となっています。

全国消防操法大会出場

神崎郡支部 神戸町消防団

昨年十一月七日に神崎町と大河内町が合併し、神戸町が誕生しました。それに伴い消防団も今年四月一日に新しく「神戸町消防団」として、新たなスタートをきりました。

そのような記念すべき年に、兵庫県において「全国消防操法大会」が開催されることから、「神戸町消防団」として初出場を果たすため、日々厳しい訓練を重ねてきました。

その甲斐があり、激戦でありました中播磨地区大会を制することができ、またその勢いをそのまま県大会でも発揮することができ、「神戸町消防団」として県大会初優勝を飾ることが出来ました。また、今回出場する「作畑分団」の全国大会出場は、旧町時代も含め、二八年ぶりの快挙でもあります。

冒頭でも申しましたように今年の全国大会は地元開催であり、関係者皆様方の期待をより強く感じております。その皆様のご期待に添えるよう、そして兵庫県初の全国制覇を現実のものとするため、消防団一丸となり、毎夜厳しい訓練を重ねております。大会当日には皆様には最高の演技を披露できるものと確信しておりますので、より一層のご支援、ご声援をお願い申し上げます。



1番員 林 秀作

「多くの皆様のご声援を受けてここまで来ることができました。あとは、最高の操法をして日本一になります。」



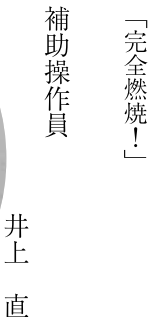
2番員 笹倉 秀之

「全国大会を楽しみながら、目指すは日本一で頑張ります。」



3番員 足立 隆史

「完全燃焼!」



補助操作員 井上 直樹



「選手一丸となって全国制覇を目指して頑張りますので、ご声援よろしく願います。」

指揮者 足立 哲哉 「たくさんの方々に応援や協力をいただいで、全国大会の舞台に立てることを本当に幸せに思っています。大会ではその声援に込められるよう、またこの舞台を楽しんで、自分たちの操法が出来るよう頑張りますので、引き続きご声援よろしく願います。」

神戸町消防団 選手各コメント

淡路市消防団副団長  
(北淡地区団長) 魚住 幸市



『災害は必ず来る』『如何なる時も消防団員として自覚を持って行動を』『火は出すな』私が、常々消防団員に言い聞かせている言葉です。

北淡地区の消防器具を使った組織消防のはじまりは、明治二十三年頃。腕用片口ポンプを購入し消防組を組織し、消防活動を始めたと聞いています。  
また、昭和三〇年三月、旧六

小野市消防団長

小林 正幸



昭和二十九年十二月一日、加東郡内のうち六ヶ町村が合併して小野市が誕生し、同時に市内六消防団を統括する小野市連合消防団が発足しました。昭和三十一年四月には加東郡社町のうち二部落が小野市に編入され、昭和三五年四月一日付で各地消防団を一本化した小野市消防団が発足し、現在に至っています。  
私は、小野市河合地区消防団河合西分団の団員に任命され、各階級を経て、平成十二年四月に小野市消防団長に就任しました。

か町村が合併して北淡町が発足するとともに、六か町村にあった消防団が、組織の改編を行い北淡町消防団となりました。

阪神・淡路大震災が起こるまでの消防団の活動は、主に『火災、風水害』に対するものでした。

『淡路には地震がない。怖いのは台風や。』と、私も含め地域住民の方も思っていました。

大震災時には、倒壊家屋が生活道路を塞ぎ、救急車両等も通れない状況のなか、消防団員をはじめ、消防団OB、町内会役員等の地域住民による連携プレーによって、生き埋めとなっていた約三〇〇人を救出するなど被害を最小限に食い止めることができました。

### 消防団今昔

54

この間、様々な災害に遭遇しましたが、平成十六年十月二〇日に上陸した、台風二三号もたらした各地への被害は記憶に新しいところです。小野市でも前日から断続的に降り続いた雨により河川が氾濫し、住宅の浸水や主要道路が冠水するなどの被害が相次ぎ、延べ四八四名の団員が孤立者の救出、避難誘導、水防工法に出動し、対応に追われました。

阪神・淡路大震災をはじめ、ここ数年で起きた自然災害は、未曾有で大規模なものが多く、改めて消防団の必要性を感じているところです。

しかし今日では、消防団員離れが加速し、団員減少に歯止めのかかない状況が続いております。小野市では今年四月より、現役消防団幹部による『消防団改革検討委員会』と命名した会議を一ヶ月に一回開催し、現在



これからも、例年多発している大規模風水害、地震災害に備え『安全で安心して暮らせるまちづくり』をめざし、『自分たちの地域は自分たちで守る』をモットーに消防組織の強化を図り、消防団活動に精進したいと思います。

の若者の心をつかみ、より魅力ある消防団にするための改革に取り組んでおります。  
常備消防の充実、社会形態の変化などに伴い、消防団が第一線で活躍する場は減少し、住民側の期待も薄れつつありますが、『市民が安全で安心して暮らせる社会』の一端を担っていることに変わりありません。地域住民に密着し、常備消防にない魅力あふれる組織を実現するため、今後も改革の推進に努めてまいります。



阪神・淡路大震災写真 (淡路市)



## 地区通信

### 養父地域一斉災害避難訓練

#### 養父市消防団

平成十八年七月三〇日、養父市旧養父町全域において、昨年度に引き続き第二回目の災害避難訓練が行われました。

火災を含めた災害時に、全住民が安全にすばやく避難できるようにすること、また、高齢化が進む中、すぐに動けない高齢者といった要援護者の避難を補助することが重要となっています。

このため、区・自主防災組織、民生児童委員、社会福祉協議会、消防団が連携を図りながら、要援護者(高齢者世帯や独居老人等)を含めた全住民の避難訓練を実施し、災害発生時に的確な行動ができるようにすると同時に、訓練内容としては、地震発生のため避難勧告が発令されたことを想定し、参加可能な全住民(当日参加三、四四二人)が地区ごとに指定されている避難所に避難しました。併せて、要援護者については、本人及び家族から訓練への参加の承諾を得た上で、要援護者も含めた避難訓練を実施しました。

訓練を通して「地域で協力して、地域住民の命を守る。」という防災意識を持ち、住民が一体となって防災活動を行えるようにすることを目的に実施されました。

訓練ではそれぞれの役割として、消防団は避難広報・避難誘導・要援護者避難補助・初期消

火等を、自主防災組織は避難誘導・要援護者避難補助・要援護者の把握・炊き出し等を、民生児童委員は要援護者の安否確認・避難者名簿の作成を実施しました。

また最後に、有事の際に、要援護者への対応を速やかに行えるように、本人及び家族の同意が得られれば、区・自主防災組織、消防団が民生児童委員と協力して「どの家庭に要援護者がいて、どの部屋にいるのか」を把握し、昨年度作成した台帳の更新を行いました。

地域の関係者と住民が一体となつて、万が一の場合にいかに対応するのか、また、助け合うこと・地域コミュニケーションを再確認でき、大変有意義な訓練を行うことができました。



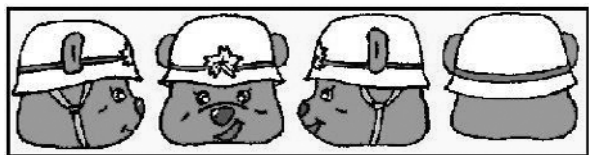
「一斉避難」



「担架による搬送」



初期消火訓練



わがまちの団長さん

138

地域を守る心意気

宝塚市消防団

古東 宏之 団長



宝塚市は、阪神都市圏の中央後背部に位置し、宝塚歌劇・手塚治虫記念館・阪神競馬場等には多数の観光客が全国各地から訪れ、「おしゃれ」「華やか」「きれい」といった言葉で彩られた「美しい町」として知られています。

宝塚市消防団は、昭和二九年四月発足以来、市街地消防団が統合され、昭和五〇年九月末をもって北部地域（南北十五km、東西五kmの周囲を山林に囲まれた地域）のみに、一団本部・一分団が再編され、現在に至っています。団員数は一九二名で組織されており、ポンプ自動車五台、小型動力ポンプ積載車六台が配備され、通信連絡体制も整備されています。

古東団長は、昭和三四年に入団以来持ち前の正義感と熱血で、消防団活動を続けられ、平成十七年十月に第七代消防団長に就任されました。

四七年のキャリアは勿論のこと、いつも笑顔を絶やさず、温厚で包容力があり、若い団員の意見にもしっかりと耳を傾ける団長の人柄に、全団員が一丸となつて、団長を支えようと取り組んでいます。

今後も、地域の四分の三を有する北部地域の防災の担い手として、強力なリーダーシップを発揮され、ご活躍いただきますよう願っております。



お見合い

品川レスカ



北から南から

「白球と歓声が飛ぶ街西宮」西宮市支部  
♪雲は湧き 光溢れて 天高く  
純白の球 今日ぞ飛ぶ♪

今年の夏も猛暑の中、第八八回全国高等学校野球選手権大会が行われ、数々の高校球児たちの名ドラマが誕生しました。その、熱戦が繰り広げられた大舞台こと、阪神甲子園球場は、その名を全国的に知られています。

西宮市は、南部は青い海、北部は緑豊かな地域と、変化に富んだ地形であり、甲子園球場は西宮市の南東部に位置し、西宮市消防団の鳴尾地区管轄内にあります。その歴史は古く、溯ること、一九四四年（大正十三年）、武庫川の支流である旧枝川、甲川沿いに埋め立てられた場所に建設されました。この年の干支、甲子（きのえね）にちなんで阪神電車甲子園大運動場と名づけられたそうです。そして、同年夏から、現在の全国高等学校野球選手権大会の前身である、全国中等学校優勝野球大会の主な

場として使用されるようになっていきました。当時より甲子園球場周辺には、次々と娯楽施設が建てられました。昭和九年には今は無き、阪神パークの前身である、甲子園娯楽場が開設され、水族館が完成、和歌山の太地からゴンドウ鯨が運ばれてきたというから、驚きです。

平成十五年には、その阪神パーク跡地に、延床面積八四、八八三㎡、総合スーパーと一七〇店舗もの専門店街で構成された大型商業施設「らぽーと甲子園」がオープン、地域の方をはじめ、多くの人々が憩える施設となっております。

このように、歴史文化的、商業的にも重要な施設が西宮市には数多く存在しており、市北部の緑豊かな地域と同様に、火災等の災害からこれらを守っていくことが、地域防災の要である消防団の使命であると考えております。



歓声沸き立つスタンド



阪神甲子園球場

- ・操法最適ホース：コンペVシリーズ
- ・小型動力ポンプ：ラビットダイヤモンドフジシリーズ
- ・小型動力ポンプ積載車(標準型・全自動型)
- ・消防ポンプ自動車(モリタ)
- ・消防用資機材全般



**西垣消防器具製作所**  
 669-5213 兵庫県朝来市和田山町玉置461  
 TEL:(079)672-3131  
 FAX:(079)672-3132  
 E-mail: fp-nishigaki@eagle.ocn.ne.jp



吉谷式消防ポンプ自動車

営業品目

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 屈折梯子付消防ポンプ自動車 | 消防救助工作車       |
| 化学消防ポンプ自動車    | 小型ポンプ積載車      |
| 水槽付消防ポンプ自動車   | シバウラ小型動力消防ポンプ |
| 普通型消防ポンプ自動車   | 各種消防用品        |
| 高発泡機付消防自動車    | 消防用ホース        |

株式会社 吉谷機械製作所

本社・工場 鳥取市古海356の1  
 TEL(0857)23-2211(代)  
 FAX(0857)27-1766

# 地区通信

## 新入団員訓練

### 明石市消防団

平成十八年七月二日(日)午前九時三〇分から、市内の錦浦小学校で「平成十八年度新入団員訓練」を実施しました。

明石市消防団は、団長以下一〇四〇名・八分団・四九班で組織されています。

そして消防団は、明石市民約二九万人の生命・身体及び財産を各種災害から守るべき重大な任務につくため、四月一日付けで新たに任命された新入団員六五名の教育訓練を実施しました。

当日はあいにくの雨で、場所を校庭から体育館に移しての訓練実施であったため、手狭でなかなか思うように訓練指導ができませんでした。

本訓練の目的は、消防団員としての心構え、また、火災現場等の状況下において、迅速かつ確実に、更に、安全に行動できるように、災害活動に必要な不可欠な消防技術を習得させるとともに、部隊としての連携動作を体得させるものです。

訓練に先立って、団長より訓示があり、「地域における最前線の活動機関として、火災はもちろん、風水害等による災害を防除し、地域住民の安全を守ることである。」と任務の認識について話されて、更に、地域住民から信頼を受け、愛される消防団になるようにと訓示がありました。

引き続き、来賓として出席された消防長からは、消防団へのねぎらいの言葉とともに、市民が安全で安心して暮らせるために取り組んでいただきたいとの内容の話がありました。

訓練メニューは「第一部 訓練礼式」・「第二部 資機材取扱訓練」の順で予定をしていきましたが、あいにくの雨で「第二部 資機材取扱訓練」はできませんでした。

訓練礼式では、礼節を明らかにして、規律を正し、隊員の品位の向上を図るとともに、個人を練成、部隊訓練の基礎を作るのを主眼とし、各分団ごとに分かれ、班長以上の役員が、新入団員に対し各個訓練及び小隊訓練を懇切丁寧に指導しています。

団の役員自らが模範を見せた上、新入団員に実施させるなど、室内の蒸し暑中、全団員が汗だくになりながら、消防団の使命達成のため、団員一丸となつて、災害のない住みよいまちづくりを目指して頑張っています。



分団に分かれて訓練



各訓練は細かいところまで

## 編集後記

晴天高く、風も涼しくなり、少しづつ秋を感じられる季節になりましたね。皆様いかがお過ごしでしょうか。

今月号では、開催が迫る「第二〇回全国消防操法大会」について、神戸町消防団よりの意気込み寄稿文を掲載しております。全国大会に出場される選手の皆様、ご健闘、ご活躍をお祈り申し上げます。

また、消防団今昔には、小野市消防団長小林正幸さん、淡路市消防団副団長魚住幸市さんよりご寄稿いただきました。厚くお礼申し上げます。

「事務局からのお知らせ」  
「兵庫消防」十月号は、休刊とさせていただきます。

兵庫県消防協会  
ホームページアドレス



「こんにちは!ひょうごの消防団です」  
<http://www.hyogoshoubou.jp/>

美と力を備えた  
新しいテクノロジーが  
社会と暮らしを守り続けます。

## 安心を科学する モリタです。

株式会社 **モリタ**

本社 〒544-0003大阪生野区小路東5丁目5番20号  
TEL06(6756)0119 FAX06(6756)3473  
東京・大阪・名古屋・仙台・福岡・富山・松山

## チェック!

元栓  
X 火遊び  
X ポイ捨て  
消火器  
ちえっく!

## 世界へ羽ばたく!

### GMの消防自動車

大槻ポンプ工業株式会社

●本社・営業本部  
〒623-0021  
京都府綾部市本町7丁目67-2  
TEL (0773) 42-0681(代)  
FAX (0773) 42-9229

## 消防団服

甲種 日毛・帝人・東レ団服・作業服・制帽  
乙種 刺子・木綿  
ハッピー・ズボン・腹掛・革バンド

附属品一式

**キンバイホース** 兵庫県特約店

株式会社 **三浦消防**

姫路市竜野町1丁目1番地  
電話 (姫路) 92-0447  
(0792) 98-8663